

追い求めた理想のトマトを
お届けしたい



超有名品種の育種経験を活かして

種苗の生産や販売を行う会社で、ブリーダーとしてトマトの育種や栽培指導を担当し、計30品種以上の「桃太郎」シリーズに携わってきました。当時は、「世の中に無いものを自分たちの手で生み出し、多くの人に喜んでもらえる。こんなやりがいのある仕事はない」と、ワクワクしながら仕事をしていました。現在は、40数年に渡って育種に携わった品種を自分で納得できる方法で栽培に取り組んでいます。そして、距離の近い直売所でお客さんに食べてもらう理想の姿を実現しようと思っています。



▲収穫期を迎えたトマト。JA直売所へ5-7月、9-12月に出荷しています。

地元ならではの贅沢をご提案

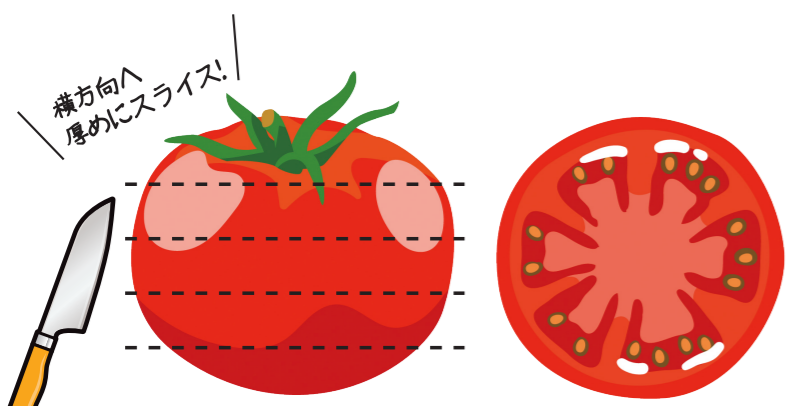
トマトの栽培にあたっては、少量土耕培地耕という滋賀県独自の養液栽培システムを使用しています。これは、隔離ベッドに入れた少量の土壌の中で、培養液を灌水で栽培する仕組みです。省力で高品質なおいしいトマトが栽培できる上に環境にもやさしいといった、県が誇るべき素晴らしい技術だと思っています。また、私が携わった「桃太郎」シリーズをはじめとする品種も、県内の研究農場で育種した滋賀県生まれです。滋賀県生まれで滋賀県育ちのトマトを完熟の状態で食べるのって、距離が近い滋賀県だからできる最高の贅沢だと思いませんか？



▲ハウス内に設置した操作盤で水や養液の制御を行います。簡便なシステムが気に入っています。

知ってほしい！
本当においしいトマトの食べ方

大玉トマトのおいしい食べ方をご紹介します。くし切りにされるのが一般的ですが、おすすめは横方向へ厚めにスライスする食べ方です。果肉とゼリーの部分をバランスよく味わうことができますので、トマトのおいしさを十分に堪能することができますよ。ただし、本当においしいトマトでないと、真のおいしさを味わうことができないのでご注意ください。ぜひJA直売所で完熟収穫された、おいしいそんなトマトを選んでください。



これよりもっと最高なのは、丸ごとかぶりつく食べ方です。ぜひお試しください！！

トマトはゼリー部分の部屋数が多いほどおいしいのですが、形が悪くなる傾向があります。そこは、トマト農家の腕の見せ所です！

ひこねしさとねちょう
彦根市里根町
かや
加屋ファーム
かや たかし
加屋 隆士さん(68)

主な生産品目

品目名	規模
トマト	6a

(令和6年度)

